

立憲民主党  
代表 野田 佳彦 様

日本化学エネルギー産業労働組合連合会  
(J E C 連合)  
会長 堀谷 俊志

### 要請書

日頃より私たち働く仲間の声に寄り添い、将来に希望の持てる社会の実現に向けてご尽力いただいておりますことに敬意を表します。また、弊会の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

2024 春季生活闘争では、33 年ぶりの高水準の賃上げ回答となり、「人への投資」を起点として経済の好循環を回すステージ転換のための足掛かりとなりました。これを足元の物価高による一時的なものにとせず、賃上げの流れを継続し、「点」ではなく「線」の春闘となるよう継続的な取り組みが必要となります。

私たちが働く化学エネルギー産業に目を向けると、原材料・エネルギー価格の高騰への対応、2050 カーボンニュートラルに向けた構造転換や技術開発、国民生活と経済を支えるエネルギーの安定供給、革新的な医薬品への国民のアクセスと質の高い医薬品の安定供給の確保など、それぞれの業種・企業が社会的な使命を果たすための挑戦を続けています。

そのような中、JEC 連合では、石油・化学・塗料・セメント・医薬化粧品の業種別部会が主体となり、それぞれの産業が社会と共存し、持続可能で健全な産業の発展を実現し、そしてそこで働く仲間たちが安心して働くために必要な政策について、別紙の通り取りまとめを行いました。

令和 7 年度税制改正及び予算編成に向けた検討が進む中、働く者の立場から私たちの掲げる政策の実現に向けて、お取り計らいのほど何卒よろしくお願い申し上げます。

以上